

県環境保全活動知事表彰を受けて

このたび、知事表彰という素晴らしい表彰を受けたことは、地域住民の皆さまの半世紀以上にわたる協力と、地域に対する思いで続けてきた活動が認められた成果であると思います。改めて、日頃から活動に参加し、ご尽力いただいている地域の皆さま、そして会の運営をささえてこられた歴代役員の皆さまの長年のお力添えに心からお礼申し上げます。

コミュニティが地域を支え、見守り続けて行く。この積み重ねと持続した活動が、復旧・復興の先のまちづくりにも通じるものであるとの思いを強く感じました。

高齢化・少子化をはじめさまざまな現状ではありますが、自らが思いを持って参加・協力し笑顔があふれる地域づくり、住民協働事業として気持ち新たに組み込んでまいりたいと思います。

これからもどうぞよろしく願いいたします。

豊間根環境衛生連合会
会長 豊間根 信



豊間根環境衛生連合会に知事表彰 長年にわたる活動に栄誉

去る1月28日、岩手県民情報交流センターで行われた「平成28年度岩手県環境保全活動知事表彰」で、豊間根環境衛生連合会（豊間根信会長）が知事表彰を受けました。

昭和36年から50年以上にもわたり行われてきた地域の環境美化活動、道路・河川の草刈、清掃等の環境整備などへ地域全域での積極的な取り組みが評価され、今回の表彰となりました。会長の豊間根さんは「長年にわたる地区住民の活動が評価されうれしい」と喜びを語りました。

INTERVIEW

船戸 義和さん

山田町地域コミュニティ形成アドバイザー



船戸 義和さん

【略歴】自由学園最高学部（東京都）卒業。米国の大学院で非営利団体の運営を学ぶ。震災直後から被災地のコミュニティ形成を支援。岩手大学三陸復興・地域創生推進機構地域コミュニティ再建支援班特任研究員。38歳。盛岡市在住。

町では、船戸義和さんに山田町地域コミュニティ形成アドバイザーを委嘱しました。これは、災害公営住宅への入居や、自立再建の住宅移行後の新たな地域コミュニティ形成支援のために委嘱したものです。今号は船戸さんへのインタビューの内容を紹介いたします。

Q コミュニティ形成の意義は？
A 震災発生直後から続けている支援活動で感じていることは、地域に住む人たちが自身に復興に向けて立ち上がる力があるということだと思います。ただ、バラバラでは力が弱い場合もあり、人のつながり、つまり地域コミュニティが力を合わせるために必要になると考えています。

ツは？
A 例えば、さまざまな人が集まる災害公営住宅では、近くに住んでいても接する機会が少なく、お互いを知らないままになりがちです。まずは掃除当番や集金など、生活のルールをなるべくたくさんの方が関わって作るようにすると、自然にお互いの理解度があがってコミュニティ形成につながります。

Q アドバイザーとしての今後の展望は？
A 他の地域での活動も生かして町のコミュニティ形成に役立てばと思っています。でも、主役は私ではなく町の人たち。良きパートナーとして、一緒に良い町を作っていきたいです。